へ13
3740
7

北雪美談時代鏡 巻上

丙辰新刻

門 へ13
3740

稗官者流の根原ハ那蒙人の寓言ふ命〳〵ひ善惡勸懲旨と

なれど近き蜀の画双紙ハ或ハ何の妖術とか高々

怪々の條紙設て画組ふ工を

ケ尺さねゞ婦幼稚童の御意ふ愜つゝ余ハ

由縁が夢の中ゝ岩藤ふ授らもするかの妖蝶

の一段より只管蝶紙ふらハして莊子ふ倣ひ菓子の

上ハ翩々然として筆紙飛しぬ

安政三年丙辰陽春

烏永春水記

月ゝ日
春の月の光
春の月の光
春の月の光
春の月の光

二
異変と聞て
群臣多賀の
館へ馳集る

梅
正
由

刀

春水作國貞画

風流画半切　越前奉書紙　伊豫奉書紙

○縮印　○うんも印半切

仕齋百図　全　洞都画

上製　河竹の色

目録色

当年新板　春お六彩志形

忠臣義士錦く傳　一福齋芳虎画

赤穂浪士絵　御幕お六進物　若林堂藏